



## 発刊にあたって

仙台南地区租税教育推進協議会長  
山元町教育委員会  
教育長 菊池卓郎

皆様には、日頃から、仙台南地区租税教育推進協議会に対しまして、深い御理解と御協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

未だ収束の見えない新型コロナウイルス感染症ですが、今年度は3年ぶりに座談会を開催し、昨年再開した研究発表会、実践報告書発刊と併せて、コロナ禍前に行っていた主要な事業をひとつとおりに実施することができ、嬉しく思っております。関係各位の御高配に深く感謝申し上げますとともに、租税教育に取り組んでいただいた学校及び教職員の皆様に、心から敬意を表する次第です。

租税教育は、次代を担う児童生徒が、税を通じて国や社会の仕組みを知り、社会を支える租税の意義・役割を正しく理解して、将来、納税者として義務を果たすことだけでなく、主体的に社会参画する意識をも育む大事な教育です。

また、税金が、身近な公共事業や社会保障、頻発している災害の復旧などのために幅広く使われ、私たちの豊かで安全・安心な生活を支えているということをきちんと知ることは、自分たちが住む地域に目を向けさせ、地域の将来を考えさせる大変いい機会にもなります。

今年度の発表会では、租税教育に取り組んだ名取市立ゆりが丘小学校、岩沼市立岩沼西小学校、亘理町立亘理中学校、山元町立山下第二小学校の各校から、興味・関心をもって授業に取り組む児童生徒の姿、ICT機器をうまく活用した授業実践、実践を通しての成果や課題などが紹介されました。特に、どの学校からも、児童・生徒の税に対する理解の深まりとともに、意識にも大きな変化が見られることが成果として挙げられ、租税教育を行うことの意義を強く感じたところです。

担当された先生方には、お忙しい中、租税教育の実践だけでなく、研究発表のための資料作成や準備等に注力し、すばらしい発表を行っていただいたことに感謝申し上げます。この実践報告書を通して租税教育の輪がさらに広がり、子供たちが起点となって租税の意義・役割が正しく周知されていくことを期待いたします。

結びに、本報告書発刊に御尽力いただきました仙台南税務署の皆様にも心から感謝申し上げますとともに、関係各位の今後ますますの御健勝と御活躍を祈念し挨拶いたします。

令和5年3月